

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

黙祷 イザヤ 42:5-6 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けまし;よう。

*賛美 …… 9番 聖なる、聖なる、聖なるかな

*交読文 …… 44番

*使徒信条 …… 会衆一同

*頌栄 …… 175番 み霊よわれ歌う時

礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:史執事 天声:小林 伝道師

賛美 …… 40番 輝く日を仰ぐとき

メッセージ …… 混沌の世を秩序立てる「カーラー」宣言(創世記 1:1-8)

御言葉を適用する祈り …… 会衆一同

賛美 …… 399番 さかえの王にます主の

献金感謝の祈り …… パスター

報告 …… 本日午後は成田との合同礼拝となり、横浜での英語礼拝はありません。

*主の祈り …… 会衆一同

*祝祷 …… パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)

・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)

・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)

・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

神の言は生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と靈魂と、関節と骨髓とを切り離すまでに刺しとおして、心の思いと志とを見分けることができる。そして、神のみまえには、あらわでない被造物はひとつもなく、すべてのものは、神の目には裸であり、あらわにされているのである。この神に対して、____は言い開きをしなくてはならない。(ヘブル 4:12-13)

みことばの戸が開くと、光が差し込み、わきまのない者に悟りを与えます。(詩篇 119:130)

若い人はどうしておのが道を清く保つことができるでしょうか。み言葉にしたがって、それを守るよりほかにありません。(詩篇 119:9)

あなたのみ言葉は____の足のともしび、____の道の光です。____はあなたの正しいおきてを守ることを誓い、かつこれを実行しました。____はいたく苦しみました。主よ、み言葉に従って、____を生かしてください。主よ、____のさんびの供え物をうけて、あなたのおきてを教えてください。

____のいのちは常に危険にさらされています。しかし、____はあなたのおきてを忘れません。悪しき者は____のためにわなを設けました。しかし、____はあなたのさとしから迷い出ません。あなたのあかしはとこしえに____の嗣業です。まことに、そのあかしは____の心の喜びです。____はあなたの定めを終りまで、とこしえに守ろうと心を傾けます。(詩篇 119:106-112)

テフィリンを学んだ世界中のコーエングループによる、世界同時テフィリンが、7/1、創世記 1:1 から始まり、今 8 節まで進んだ。テフィリンすると、そのわずかな節に隠されている莫大な奥義と恵みに感動し、隠されていた宝を発見したような喜びを体験する。今回、世界同時テフィリンの箇所から恵みを分かち合いたい。

今の時代は、混沌として掘み所がなく、創世記 1:2 のように闇に覆われているような状況だ。特に 2020 年に入って以来、それが一層濃くなっているかのように見えるが、その状況にあっても、上では、神の霊が動いている。神は、闇に対しては光を宣言し、光と闇とを切り分け、そして世に秩序をもたらして行かれた。イエス様を信じ神の子とされた私達は、神の子として、積極的に神のわざに参加し、実践していくべきだ。神は光を昼と名付け、闇を夜と名付けた。また、大空が水の真ただ中にあるようにと宣言し、上の水と下の水とに切り分け、大空を「天」と名付けた。このように、神は混沌に秩序をもたらす度に「名をつけた」が、「名づける」のヘブライ語「קָרָא」には、命名する、呼ぶ、告げる、声に出して宣言する、暗唱する、定義づける、等の意味がある。すなわち、神が創造したものに、機能や使命、意味を付与する宣言である。天も地も、光も闇も、全被造物は全て神の意図通りに存在し、それぞれに与えられた使命を遂行する事によって、神の栄光を表している。そして人という存在は、他の被造物と比べると、とても特殊な存在である。

人は唯一、神の似姿として、自由意思をもった存在として創造された。神の言葉に「従わない」自由さえ、与えられている。人にもカーラー宣言ができるが、正しくカーラー宣言ができる人とは、神と共に歩み、神に従順している人である。創世記 2 章において、まだ罪を犯していないアダムには、それが正しく出来た。彼は、神が連れて来られた動物に名前をつけ(カーラー)、最後に、助け手として送られた女に名をつけた。人は、神から御言葉が与えられ、その神の言葉を暗唱し、その通りに宣言し、信じ、実行する時、神の言葉に内在している莫大な力が働き出す。人には元々、しるしや奇跡を行う力は、無い。人は元々、神を離れては、何もする事はできない。人に与えられている機能とは、神から与えられた自由意志を用いて、神の言葉に従順し、宣言し、神の意図したわざを実行する事で、そのように作られたものは、他にはいない。モーセは多くのしるしや奇跡を行ったかのように見えるが、モーセには元々、しるしや奇跡を行う「機能」は、無い。彼は神から言われた言葉をそのまま暗唱し、それをそのままエジプトとパロへと持って行き、そのまま宣言しただけだ。そうしたら、しるしや奇跡が起きた。しかし、神からの言葉を正しく暗唱せず、正しく宣言しなかった時、逆にパロをつけあがらせ、さらに過酷な苦役をもたらしてしまった。(出エジプト記 5:3) 今、この世が混沌無秩序になってしまっている理由は、神から離れた人間の好き勝手なカーラー宣言が、野放しでまかり通ってしまっているからであり、初代教会のような奇跡やしるしが起きない理由は、御言葉をそのまま暗唱して正しく伝える事があまりに乏しいため、世の”パロ”をつけ上げらせてしまっているのだ。

人が神の言葉を信じ、暗唱し、宣言した時、御言葉に内在した強大な力、すなわち、天地を創造し、光と闇を切り分け、海と大空を切り分けた、あの力が、働き出す。これが、神と人とのコラボレーションである。神がコラボレーションして、全被造物を動かす事ができるのは、唯一、人間だけだ。私達に与えられた分は、神の言葉を暗唱し、信じ、宣言する事である。そうするなら、御言葉に含まれている機能を、全部、主が行ってください。だから私達は、知るべきである。御言葉を信じて宣言することがどれほど凄いことかを。悪魔サタンは、人に与えられたこの莫大な特権を使わせないために、神の言葉を正しく宣言させないように、という点に、一番注力する。エバはまんまとそれに引っかかってしまい、結果、サタンをつけあがらせ、世は混沌状態となってしまった。これに対抗するには、正しく御言葉を暗唱しなくてはならない。初期の頃のモーセのように”パロ”を、すなわち、世の力を恐れて御言葉をぐらつかせ、つけあがらせてはならない。

この混沌の闇となってしまう世界を秩序ある世界へと戻すには、私達・神の子達が、正しく神の言葉を暗唱し、宣言し、実行する事による。そうするなら、闇の中に光をともし、混沌に秩序をもたらし、死の海の中の真ただ中に、大空を入れた、あの神の莫大なパワーが働き、神のパーフェクト、ビューティフル、グッドが、実体化される。御言葉を正しく宣言し、神の秩序をこの世に回復して行く皆さんでありますように!

